

目次

第1篇 北海道地方の観光地

Introduction : はじめに

No. 1 : 北海道の観光地

第2篇 東北地方の観光地

No. 2 : 青森県の観光地

No. 3 : 岩手県の観光地

No. 4 : 秋田県の観光地

No. 5 : 宮城県の観光地

No. 6 : 山形県の観光地

No. 7 : 福島県の観光地

第3篇 関東地方の観光地

No. 8 : 茨城県の観光地

No. 9 : 栃木県の観光地

No. 10 : 群馬県の観光地

No. 11 : 埼玉県の観光地

No. 12 : 千葉県の観光地

No. 13 : 東京都の観光地

No. 14 : 神奈川県 of 観光地

第4篇 中部地方の観光地

No. 15 : 新潟県の観光地

No. 16 : 長野県の観光地

No. 17 : 山梨県の観光地

No. 18 : 静岡県の観光地

No. 19 : 岐阜県の観光地

No. 20 : 愛知県の観光地

第5篇 北陸地方の観光地

No. 21 : 富山県の観光地

No. 22 : 石川県の観光地

No. 23 : 福井県の観光地

第6篇 近畿地方の観光地

No. 24 : 三重県の観光地

No. 25 : 滋賀県の観光地

No. 26 : 京都府の観光地

No. 27 : 奈良県の観光地

No. 28 : 和歌山県の観光地

No. 29 : 大阪府の観光地

No. 30 : 兵庫県の観光地

第7篇 中国地方の観光地

No. 31 : 鳥取県の観光地

No. 32 : 島根県の観光地

No. 33 : 岡山県の観光地

No. 34 : 広島県の観光地

No. 35 : 山口県の観光地

第8篇 四国地方の観光地

No. 36 : 香川県の観光地

No. 37 : 愛媛県の観光地

No. 38 : 徳島県の観光地

No. 39 : 高知県の観光地

本資料に掲載

第9篇 九州地方の観光地

No. 40 : 福岡県の観光地

No. 41 : 佐賀県の観光地

No. 42 : 長崎県の観光地

No. 43 : 大分県の観光地

No. 44 : 熊本県の観光地

No. 45 : 宮崎県の観光地

No. 46 : 鹿児島県の観光地

第10篇 沖縄地方の観光地

No. 47 : 沖縄県の観光地

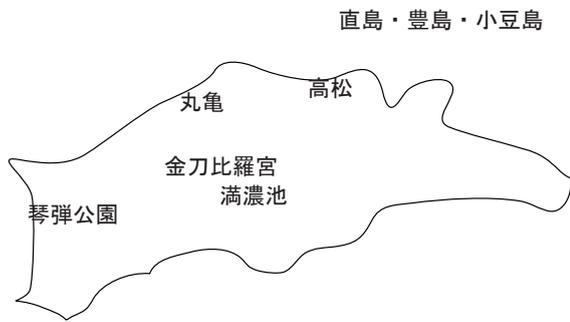
第11篇 その他の観光資源

No. 48 : 日本の国立公園

No. 49 : 日本の世界遺産

No. 50 : その他の項目

No.36：香川県の観光地



【概要】

面積が全国一小さいため、大きな観光ゾーンはない。最大の観光地は中央部の金刀比羅宮で、江戸時代中期以降庶民の間で講が組織され、参詣者が多くなった。

また、瀬戸内海を眺望できることも観光資源であり、小豆島などの島々だけでなく、各地に海の見える展望台などがある。

さらに香川県に限らず、四国には八十八箇所を巡礼する風習が現在でも残り、徒歩だけでなく交通機関を利用した巡礼が今でも盛んにおこなわれている。

(代表的な観光地)

[瀬戸内海の島]

しょうどしま
 ・小豆島

瀬戸内海の高松市の北東約 20 km に浮かぶ島で、そうめんや**オリーブ**の栽培が盛ん。瀬戸内海では淡路島に次ぐ大きさ。壺井栄の小説「**二十四の瞳**」の舞台として知られる。

かんかけい
 ・寒霞溪

小豆島にある風光明媚な溪谷で紅葉が美しいことで知られる。2 つの山の間にある溪谷で、名前は明治時代に儒学者によってつけられた。大岩壁に行くロープウェイからも、四季折々の景観が楽しめる。

なおしま
 ・直島

高松の北約 10 km の瀬戸内海にある島。アートの島とも呼ばれ文化・芸術をテーマにした観光に力を入れている。特に建物の大半が地下にある**地中美術館**は、印象派のクロード モネの作品を自然光のみで鑑賞でき美術ファンの人気を集めている。

てしま
 ・豊島

直島と小豆島の間であり、西日本最古の貝塚がある。**豊島美術館**があり、ここもアートの島とよばれる。3 年に 1 度開催される瀬戸内国際芸術祭は、直島や豊島が会場になる。

[琴平周辺]

ことひらぐつ
 ・金刀比羅宮

長い石段が有名な、「讃岐の**こんぴらさん**」として親しまれている神社。全国に約 600 ある金刀比羅神社、琴平神社の総本宮。象頭山そうずさんの中腹にあり、特に海の守り神として信仰され船乗りや海事関係者の崇敬を集めている。

きゅうこんびらおおしほい
 ・旧金毘羅大芝居「**金丸座**」

琴平町にある重要文化財で、江戸時代末期の 1835 年に建てられた**日本最古の芝居小屋**。金刀比羅宮に多くの参詣者が来ることから、芝居などの興行も盛んになり、祭礼のたびに金毘羅大芝居が開催されていた。

〔高松市〕

りつりんこうえん
 ・栗林公園

国の特別名勝に指定された回遊式大名庭園で、歴代藩主が修築を重ね 300 年近く前に完成した。園内には6つの池と 13 の築山があり、大名庭園の中では最大級を誇る。

・屋島

高松市の北東にある台地。瀬戸内海と高松市街を一望できる絶景スポットや那須与一の活躍で知られる源平合戦の古戦場が残っている。

〔その他の香川県の観光地〕

まるがめじょう
 ・丸亀城

丸亀市にあり、別名を蓬萊城ほうらいじょうや亀山城という。築城 400 年余りで、内堀からそそり立つ石垣は扇の勾配とよばれる美しさを誇る。「現存 12 天守」の一つで、重要文化財に指定されている。

ことびき
 ・琴弾公園

観音寺市かんのんじの海沿いにある都市公園で国の名勝。広い園内に神社仏閣や史跡があり、中でも展望台から見る銭形砂絵ぜにがたすなえ「寛永通宝」は東西 122m 南北 90m あり、見るだけで縁起が良いとされる。

まんのういけ
 ・満濃池

中部の仲多度津郡にある周囲 20 km に及ぶ日本最大級のため池で、国の名勝。空海が修築に尽力したと伝わっている。周囲は貴重な自然に恵まれ、ほたる見公園や遊歩道がある。

《代表的な観光資源》

〔名物 / 特産品〕

- ・さぬきうどん：みずから「うどん県」と名乗るほどの名物。香川のうどん店の数は信号機よりも多いという冗談もある。
- ・うちわ：丸亀市は江戸時代初期にうちわの製法が伝わり、以来丸亀藩が藩士の内職にうちわ作りを奨励するなど伝統産業になっている。

No. 37 : 愛媛県の観光地



【概要】

かつて伊予とよばれた愛媛県は、東から南にかけて東予・中予・南予に分かれる。

東予にある今治は、しまなみ海道の一方の起点であり、本州と結ばれている。中予の松山市と南予の宇和島市が2大観光地であるが、その間にも古い街並みや港町などが点在し、個性ある観光地が多い。

高知県との県境は急峻な四国山地にあり、1000m級の山々が続く、古くからの山岳修行の地である。

(代表的な観光地)

[松山市]

・松山城

松山観光のシンボル。中心部の勝山山頂に本丸がある松山藩 15 万石の広大な城で、築城当時の乾櫓いぬいやぐらや一の門が残る。日本で 12 か所しか残っていない「現存 12 天守」のうちの一つ。

・道後温泉

有馬温泉（兵庫県）や白浜温泉（和歌山県）とともに、古来から知られ日本三古泉といわれる。本館は3層楼の外観が目目を引く温泉の象徴。夏目漱石の「坊っちゃん」に登場し、市の中心部からは「坊っちゃん列車」で訪れることができる。

・子規記念博物館

松山出身の、近代俳句の祖といわれる正岡子規まさおかしきの生涯や夏目漱石などとの交友関係の資料を展示している博物館。松山は現在も俳句が盛んで、だれでも投句できるように市内に 90 以上の俳句ポストがある。

[宇和島市]

・宇和島城

宇和島市の中心部に位置する丘陵に築かれた城。1615 年に伊達秀宗が入城して以来伊達家代々の居城となったが、縄張そのものはその前に藤堂高虎が築いたものとされる。この城も「現存 12 天守」のうちの一つ。

・天赦園

伊達家の七代藩主が隠居の場所として建造した池泉廻遊式庭園で国の名勝に指定されている。園内は伊達家の家紋である竹や笹、また多くの藤が植えられ、藤の名所として知られている。

— 現存 12 天守：江戸時代以前に築城され、現在まで保存されている天守を指す。 —

1. 弘前城（青森県：重要文化財）
2. 松本城（長野県：国宝）
3. 丸岡城（福井県：重要文化財）
4. 犬山城（愛知県：国宝）
5. 彦根城（滋賀県：国宝）
6. 姫路城（兵庫県：国宝）
7. 備中松山城（岡山県：重要文化財）
8. 松江城（島根県：国宝）
9. 丸亀城（香川県：重要文化財）
10. 松山城（愛媛県：重要文化財）
11. 宇和島城（愛媛県：重要文化財）
12. 高知城（高知県：重要文化財）

【しまなみ海道/今治市】

- おおやまつみ
・大山祇神社
 広島県尾道市と愛媛県今治市を7つの橋で結ぶしまなみ海道の**大三島**にある神社で、全国に一万社余りある山祇神社と三島神社の総本社。境内には楠が群生していて、38本のクスノキが国の天然記念物に指定されている。
- ・今治市 村上海賊ミュージアム**
 しまなみ海道の**大島**にある今治市が運営する村上水軍に関する資料館。村上一族のうち能島村上氏のしまに関する書籍や復元した小型船などが展示されている。

【その他の愛媛県の観光地】

- おおずし
・大洲市
 南予地方に位置する大洲城を中心とした城下町で「伊予の小京都」と呼ばれる。地形は盆地で霧が発生しやすく、初冬の朝、発生した霧が肱川のしかわを下り、強い風になって吹き抜ける現象を「**肱川あらし**」といいます。
- いしづちさん
・石鎚山
 西条市と久万高原町の境界に位置する山で、西日本の最高峰（1,982 m）。古くから山岳信仰の山として知られ、頂上や中腹に4つの神社がある。拠点となる本社からは瀬戸内海、しまなみ海道を見晴らすことができる。
- おもごけい
・面河溪
 石鎚山のふもとに広がる四国最大の渓谷で、国指定の名勝地。奇岩やエメラルドグリーンの清流が織りなす渓谷美を誇る。春の花々や新緑、夏の川遊び、秋には美しい紅葉を楽しむ散策ルートがある。

《代表的な観光資源》

【特産品】

- ・今治タオル**：今治市は、明治27年からタオル製造がはじまり、現在は品質が高いことで知られている。
- とべやき
・砥部焼：砥部町を中心に作られる陶磁器。食器などの日用品が多く、大洲藩の庇護のもと発展した。
- ・伊予かすり**：松山市で、明治から昭和初期にかけて大量に生産され、日本中で愛用されていた。

【祭り】

- われいたいさい うしおに
・和霊大祭、牛鬼まつり：和霊大祭とは、宇和島市の和霊神社で7月に行われる夏祭り。
 牛鬼祭りはこれに合わせて行われる。鬼のような顔と胴体の山車が市内を練り歩くパレードが行われる。
- にいほまたいこ
・新居浜太鼓祭り：新居浜市の秋祭りで、**けんか祭り**として知られる。**10月**に行われ、太鼓台と呼ばれる豪華絢爛な山車を担ぎ上げ練り歩く勇壮な祭り。新居浜最大のイベント。

No. 38 : 徳島県の観光地

【概要】

県の北部を東から西に吉野川が流れる。上流部分は支流も含めて山間の地域で、平家の落人が隠れた地域とされる。

かつては秘境とよばれ、現在でも険しい自然の中に観光地がある。また、独特の料理などが特徴である。

河口の徳島市は城下町で、多くの交通路が集まる。夏の阿波踊りは全国的に知られている。

南部には四国 88 箇所霊場の寺院が多い。

本州から空路以外には、岡山から瀬戸大橋を利用して電車や自動車を利用するか、神戸から淡路島（兵庫県）を経由して明石海峡大橋と大鳴門橋を利用して鳴門市から入ることもできる。



（代表的な観光地）

【徳島市】

・眉山

標高 290m の山で、徳島市のシンボリックな存在。名称はどの方向から眺めても眉の姿に見えることから由来する。山頂からは晴れた日に淡路島や紀伊山地も望む事ができ、ロープウェイで行くことができる。

・阿波十郎兵衛屋敷

人形浄瑠璃「傾城阿波鳴門」で知られる板東十郎兵衛の屋敷跡に造られた施設。人形浄瑠璃の「阿波人形浄瑠璃」が定期上演されている。なお、「傾城阿波鳴門」とは徳島藩のお家騒動を題材にした演目。

・阿波踊り

徳島発祥の盆踊りで、徳島市では毎年8月 12 日～ 15 日に開催されている。一つの踊りのグループを「連」といい、市内には多くの有名連がある。期間中は100 万人以上が訪れる日本でも有数のイベント。

【鳴門市周辺】

・うずしお

鳴門市の鳴門海峡では、瀬戸内海と紀伊水道の干満差により激しい潮流が発生し、これを「うずしお」と呼んでいます。春と秋の大潮時には直径 20m にも達する大きさになる。大鳴門橋の「渦潮の道」や観潮船で見ることができます。

・大塚国際美術館

鳴門市の鳴門公園内にある、陶板複製画を中心とした美術館。陶板とは板状の陶器のことで、ここでは 1,000 点以上の西洋名画を特殊技術により陶板に焼き付けて、原寸大の形で展示しています。

・霊山寺

天平年間に創建された寺院で、四国八十八箇所霊場の 1 番札所。ここから巡礼を始める参詣者が多い。空海（弘法大師）もここで修業したと伝わっている。

〔吉野川流域 / 祖谷地方〕

・吉野川

四国を西から東に流れる「**四国三郎**」と呼ばれる大河。支流の一つに祖谷川があり、流域には平家の落人伝承がある最高 200 m の断崖絶壁が続く祖谷渓がある。

・かずら橋

植物のシラクチカズラで編んだ吊り橋で、長さは 45m、水面上 14m の場所にあり 3 年ごとに架け替えられる。周辺は木々に囲まれ、四季の景観を楽しむことができるが、足元から見える水面がスリル満点である。

・おおほけ大歩危、こほけ小歩危

吉野川中流域の約 8km にわたる溪谷部。上流の大歩危と下流の小歩危を併せて呼ばれることが多い。「ほけ」とは危険な場所を表す古い言葉で、現在でも激流を船下りやラフティングを楽しむ人が多い。

・どちゅう土柱

土柱とは、風雨により砂岩層が約 120 万年かけて侵食され柱状になったもので、日本では阿波市だけで見られる。また世界的に見ても他にロッキー山脈や南チロル地方を加えた 3 か所しかない珍しい景観。

・脇町（うだつの町並み）

うだつ（卯建）とは、建物の両側の「卯」の形をした袖壁。装飾と防火を兼ねたものでかなりの費用が掛かる。美馬市脇町は江戸時代中期から藍や繭の商いで栄えた豪商が、店の繁栄や社会的地位の象徴として家々にうだつを施した。

《代表的な観光資源》

〔特産品〕

- ・阿波藍：古くから藍染めの技法や染料の生産が盛んで、高品質のものを阿波藍あわあいという。
- ・大谷焼：鳴門市で焼かれる陶磁器。職人が寝転んでろくろを足で回す「寝ろくろ」という技法で作られる。
- ・すだち：徳島県原産の柑橘類の一種。焼き魚などに果汁を絞ってかけることが多い。
- ・たらいうどん：阿波市の郷土料理。小さなたらい盥に入った釜揚げうどんを想像してください。
- ・でこまわし：祖谷地方の郷土料理。里芋を串にさして人形（でこ）に見立て、炭火で回しながら焼く。

No. 39 : 高知県の観光地

【概要】

太平洋に面した長い海岸線があり、中心都市の高知市はほぼ中央にある。

城下町である高知市と南西部の足摺岬付近が主な観光地ゾーンになっていて、この付近を周遊する観光客が多い。歴史と自然に恵まれた地域。

南東部の室戸岬も美しい海岸線があるが、短期間で効率よく観光するのは難しい。

北部は四国山地が広がり、交通路は少ない。



(代表的な観光地)

【高知市】

・高知城

初代土佐藩主山内一豊により創建されて以来、約 400 年余りの歴史を持つ。高知平野のほぼ中心に位置する大高坂山に築かれ、三層六階の天守閣から市街を見下ろす。全域は高知公園として開放されている。

かつらはま

・桂浜

高知市の浦戸湾口に弓状に広がる海岸で、古来より月の名所として知られ、“♪月の名所は桂浜・・・”と「よさこい節」にも唄われている。周辺には坂本龍馬像や記念館、水族館などがある、高知観光のハイライト。

・はりまや橋

「よさこい節」にも唄われた、純信・お馬の恋物語で知られる高知市中心部にある赤い道路橋。現在のものはコンクリートで復元された短いもの。

・竹林寺

高知市東南部の五台山にある寺院。四国八十八箇所霊場の第 31 番札所。文殊菩薩を本尊とする学問の寺で“土佐の文殊”とよばれる。本堂が国の重要文化財に指定されている。

【南西部】

あしずりみさき

・足摺岬

四国最南端の岬で、展望台からの視界は 270 度。周囲はツバキ・ウバメガシなどの亜熱帯植物が密生する。先端にはランドマーク的な存在の足摺岬灯台や四国霊場第 38 番札所の金剛福寺がある。

・竜串、見残し

竜串は、足摺岬近辺にある怪岩奇岩の景勝地。名称の由来は、竜を串刺したような景観からとする説がある。また近くには弘法大師が見残したことから見残しと名付けられた、風食作用によって岩肌に無数の罅や穴を生み出している海岸もある。いずれも足摺宇和海国立公園に属する。

・四万十川

高知県中南部を源流とし、四万十市（旧 中村市など）で太平洋に注ぐ川。ダムがなく、日本最後の清流とよばれる。欄干のない沈下橋が数多く見られ、鮎・ウナギ・川エビなどが獲れる。

かみし [香美市]

ちゅうがどう ・龍河洞

日本の三大鍾乳洞の一つ（他は岩手県の龍泉洞と山口県の秋芳洞）で、全長約 4km のうち約 1 km が公開されている。洞内出口付近に弥生時代の遺跡があり、鍾乳石に包まれた「**神の壺**」という珍しい土器が発見された。

・やなせたかし記念館（高知アンパンマンミュージアム）

香美市にゆかりのある漫画家のやなせたかしの作品であるアンパンマンの絵本原画などを展示した「やなせたかしギャラリー」をはじめ、アンパンマンの世界をジオラマで再現した「アンパンマンワールド」等がある。

[その他の高知県の観光地]

むろとみさき ・室戸岬

高知県最東南部の岬。海岸段丘や奇岩が多い地域で**室戸阿南海岸国立公園**に属している。灯台は太平洋を望む絶景スポット。知名度の割には交通の便が悪く、あまり俗化されていない。

ゆすはら ・梶原

北西部の標高 1400 ～ 500m の高地にある町。周辺に**四国カルスト**があり、春～秋には牛が放牧されている。また、**坂本龍馬**が土佐藩を脱藩したときにここを通ったため、付近に志士の像が建っている。

《代表的な観光資源》

[祭り]

- ・よさこい祭り：高知市の祭りで、毎年 8 月 9～12 日に行われる。「よさこい鳴子踊り」が最大の見せ場で、同時期に行われる徳島の阿波踊りに匹敵する人気がある。最近は札幌などの地方でも YOSAKOI として行われている。

[名物料理]

- ・**皿鉢料理**：高知県の郷土料理で、直径 40 ～ 50cm の大皿に、名物のカツオのたたきや寿司などを豪快かつ繊細に盛り込んでもてなす様式。